

## 巻頭言 新潟県教職員連盟の現状と課題



新潟県教職員バドミントン連盟  
会長 福嶋 康夫

日本教職員バドミントン連盟に加盟して約40年がたち、全日本教職員バドミントン選手権大会に参加し始めてからも約30年が経ちました。このきっかけをくれたのが以前のJEFニュースにも書きましたが当時の職場の大先輩の高見廣治さんでした。選手権大会の結果は個人戦で2回戦止まりですが、これほど永く大会に参加するとは思っていませんでした。また、派遣審判員制度が出来てからは、試合がない日は審判もさせていただきいろんな方々と審判について交流が出来たのもありがたかったです。

それ以来のお付き合いをさせていただき中、数年前から北信越ブロック代表理事も務めさせていただいておりますが、こちらの方は中々うまく進んでおらず今後の課題です。

当県連盟の活動の中で継続して行っている行事が2つあります。1つ目は、高校生の初心者大会です。会員登録を行っている先生がいる高校で、入学してからバドミントンを始めた生徒が参加でき、こちらも今年度で30回になります。

もう1つは、東京都の連盟との交流会です。また、近県の先生方も少数ですが参加されております。こちらは20回ほどになりますが、コロナ禍と地震の影響で中止が何回かありました。このきっかけを作った先生は、東京都の連盟に所属していて、新潟県の教員になったことがきっかけで始まりました。会場としては、中間地点の湯沢から始まり現在は浦佐を中心に行っており、東京開催も行いました。交流戦を中心に研修、夜の交流会は時間を忘れての楽しい時を過ごしています。

今後は、先生方の働き方改革に伴い、いかに会員数を減らさずに維持していくかが課題となります。現在は、会員のつてのみで声掛けをしていただいただけです。特に小学校、中学校の方々にとどのようにアピールし、連盟の存在と活動を伝える方法を考えていかなければと思っています。

最後に日本教職員バドミントン連盟に加盟数が47になり、全日本教職員バドミントン選手権大会に47都道府県が全て参加できることを願っております。

### 巻頭言

### 令和五年度 総会資料

#### 総会議事録

#### 一、令和四年度決算報告

#### 令和五年度予算案

#### 二、令和四年度事業報告

#### 令和五年度事業計画案

#### 三、ハイパーエイジの検討

#### 四、その他

### 第六十二回大会資料

#### 今大会を顧みて

#### レフェリー報告

#### 令和五年度表彰者一覧

#### 総合順位

#### 成績表

#### 団体戦 トーナメント表

#### 個人戦 トーナメント表

### 表紙の人

### 派遣審判員一覧／閑話休題